

● 抗不安薬

禁忌(表).....	46
重大な副作用(表).....	48
ベンゾジアゼピン系	
レスタス(フルトラゼパム).....	50
メイラックス(ロフラゼブ酸エチル).....	51
コントロール(クロルジアゼポキシド).....	52
バランス(//).....	53
セルシン(ジアゼパム).....	54
ホリゾン(//).....	55
セレナール(オキサゾラム).....	56
レスミット(メダゼパム).....	57
セパゾン(クロキサゾラム).....	58
メンドン(クロラゼブ酸二カリウム).....	59
セダبران(プラゼパム).....	60
エリスパン(フルジアゼパム).....	61
メレックス(メキサゾラム).....	62
レキシタン(プロマゼパム).....	63
ワイパックス(ロラゼパム).....	64
コンスタン(アルプラゾラム).....	65
ソラナックス(//).....	66
コレミナール(フルタゾラム).....	67
チエノジアゼピン系	
リーゼ(クロチアゼパム).....	68
デパス(エチゾラム).....	69
その他	
セディール(タンドスピロンクエン酸塩).....	70
アタラックス(ヒドロキシジン塩酸塩).....	71
アタラックス-P(ヒドロキシジnPモ酸塩).....	72
投薬期間に制限のある薬剤.....	100

重大な副作用 (1)

分 類		ベンゾジアゼピン系 (続く→)						
作用時間		超長		長 (続く→)				
一般名		フルトプラゼパム	ロフラゼパ酸エチル	クロルジアゼポキシド		ジアゼパム		オキサゾラム
商品名		レスタス	メイラックス	コントロール	バランス	セルシン	ホリゾン	セレナール
重大な副作用	1 依存性	●	●	●	●	●	●	●
	2 禁断症状、退薬症候、離脱症状	●	●	●	●	●	●	
	3 幻覚		●					
	4 刺激興奮		●	●	●	●	●	
	5 錯乱		●	●	●	●	●	
	6 セロトニン症候群							
	7 呼吸抑制		●	●	●	●	●	
	8 炭酸ガスナルコーシス							
	9 悪性症候群							
	10 横紋筋融解症							
	11 間質性肺炎							
	12 肝機能障害、黄疸							
	13 ショック							
	14 アナフィラキシー様症状							

重大な副作用 (2)

ベンゾジアゼピン系											チエノセピン系		その他		
長				中				短			その他				
メダゼパム	クロキサゾラム	クロラゼブ酸二カリウム	プラゼパム	フルジアゼパム	メキサゾラム	ブロマゼパム	ロラゼパム	アルプラゾラム	フルタゾラム	クロチアゼパム	エチゾラム	タンドスピロンクエン酸塩	ヒドロキシジン塩酸塩	ヒドロキシジンパモ酸塩	
レスミット	セパゾン	メンドロン	セダフラン	エリスパン	メレックス	レキソタン	ワイパックス	コンスタン	ソラナックス	コレミナル	リーゼ	デパス	セディール	アタラックス	アタラックス・P
1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
3															
4	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
5	●		●	●	●	●	●	●	●	●					
6												●			
7								●	●		●				
8											●				
9											●				
10											●				
11											●				
12											●	●	●	●	●
13													●	●	
14								●	●				●	●	

ベンゾジアゼピン系

レスタス（フルトプラゼパム）		シェリング・プラウ 万有製薬
効能・効果	<ul style="list-style-type: none"> ●神経症における不安・緊張・抑うつ・易疲労性・睡眠障害 ●心身症（高血圧症、胃・十二指腸潰瘍、慢性胃炎、過敏性腸症候群）における身体症候並びに不安・緊張・抑うつ・易疲労性・睡眠障害 	
用法・用量	<p>通常、成人にはフルトプラゼパムとして1日2～4mgを1～2回に分割経口投与する。</p> <p>なお、年齢、症状により適宜増減するが、高齢者には1日4mgまでとする。</p> <p style="text-align: right;">投薬期間制限なし</p>	
禁忌	<ol style="list-style-type: none"> 1. 急性狭隅角緑内障のある患者 2. 重症筋無力症の患者 	
剤形	錠：2mg	2mg1錠：22.50円
	薬価	
後発品		
本薬の特徴	<p>超長時間作用型（半減期：約190時間）。活性代謝物あり。ジアゼパム等価換算値：1.67[*]</p> <p>●活性代謝物デスアルキルフルトプラゼパムの半減期は190時間であり、1日1回投与でも十分な効果が得られる。効果も強力である。</p>	

ベンゾジアゼピン系

メイラックス (ロフラゼブ酸エチル)		明治製菓	
効能・効果	<ul style="list-style-type: none"> ●神経症における不安・緊張・抑うつ・睡眠障害 ●心身症（胃・十二指腸潰瘍、慢性胃炎、過敏性腸症候群、自律神経失調症）における不安・緊張・抑うつ・睡眠障害 		
用法・用量	通常、成人には、ロフラゼブ酸エチルとして2mgを1日1～2回に分割経口投与する。 なお、年齢、症状に応じて適宜増減する。 <div style="text-align: right;">投薬期間制限30日</div>		
禁忌	1. ベンゾジアゼピン系化合物に対して過敏症の既往歴のある患者 2. 急性狭隅角緑内障のある患者 3. 重症筋無力症のある患者		
剤形	錠：1mg・2mg 細粒：1%	薬価	1mg1錠：25.40円 2mg1錠：45.30円 1%1g細粒：239.90円
後発品	<ul style="list-style-type: none"> ●ジメトックス錠1 ●スカルナーゼ錠1mg ●ロンラックス錠1mg — (1mg1錠：8.10円) — ●アストレム錠1mg ●メダックス錠1 — (1mg1錠：10.80円) — ●ジメトックス錠2 — (2mg1錠：10.80円) — ●ロンラックス錠2mg — (2mg1錠：11.60円) — ●アストレム錠2mg ●メダックス錠2 — (2mg1錠：17.10円) — 		
本薬の特徴	超長時間作用型（半減期：約122時間）。活性代謝物あり。ジアゼパム等価換算値：1.67* <ul style="list-style-type: none"> ●ロフラゼブ酸自体は不活性、代謝を受けて抗不安効果を発現する。代謝物も含めた半減期は120時間で、1日1回投与で十分な効果が得られる。抗不安作用の強さに対して、筋弛緩作用や鎮静作用はやや弱いいため、副作用が現れにくい。 		

抗不安薬

* 稲垣中、稲田俊也：2006年版向精神薬等価換算、臨床精神薬理9：1443-1447, 2006

ベンゾジアゼピン系

コントロール（クロルジアゼポキシド）		武田薬品工業	
効能・効果	<ul style="list-style-type: none"> ●神経症における不安・緊張・抑うつ ●うつ病における不安・緊張 ●心身症（胃・十二指腸潰瘍、高血圧症）における身体症候並びに不安・緊張・抑うつ 		
用法・用量	<p>用量は患者の年齢、症状により適宜増減するが、通常下記のとおり経口投与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●成人 1日クロルジアゼポキシドとして20～60mg(5mg錠：4～12錠、10mg錠：2～6錠、散1%：2～6g、散10%：0.2～0.6g)を2～3回に分割経口投与する。 ●小児 1日クロルジアゼポキシドとして10～20mg(5mg錠：2～4錠、10mg錠：1～2錠、散1%：1～2g、散10%：0.1～0.2g)を2～4回に分割経口投与する。 <p style="text-align: right;">投薬期間制限30日</p>		
禁忌	<ol style="list-style-type: none"> 1. 急性狭隅角緑内障のある患者 2. 重症筋無力症のある患者 		
剤形	錠：5mg・10mg 散：1%・10%	薬価	5mg1錠：9.70円 10mg1錠：9.70円 1%1g散：9.40円 10%1g散：47.20円
後発品(*)	<ul style="list-style-type: none"> ●コンスーン錠5 — (5mg1錠：9.70円) — ●コンスーン錠10 — (10mg1錠：9.70円) — ●コンスーン散1% — (1%1g：8.40円) — ●リサーチーフ散10% — (10%1g：47.20円) — <p style="text-align: center;">* = この欄の掲載分は診療報酬点数表上の後発医薬品に該当しません。</p>		
本薬の特徴	<p>長時間作用型（半減期：6.6～28時間）。活性代謝物あり。ジアゼパム等価換算値：10*</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国内で初めて発売されたベンゾジアゼピン系抗不安薬。低力価で効果はマイルド。代謝経路が複雑で、いくつもの活性代謝物を持つ。 		

ベンゾジアゼピン系

バランス (クロルジアゼポキシド)		アステラス製薬	
効能・効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 神経症における不安・緊張・抑うつ ● うつ病における不安・緊張 ● 心身症（胃・十二指腸潰瘍、高血圧症）における身体症候並びに不安・緊張・抑うつ 		
用法・用量	クロルジアゼポキシドとして、通常成人1日20～60mgを2～3回に、小児1日10～20mgを2～4回にそれぞれ分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。 投薬期間制限30日		
禁忌	1. 急性狭隅角緑内障のある患者 2. 重症筋無力症のある患者		
剤形	錠：5mg・10mg 散：10%	薬価	5mg1錠：9.70円 10mg1錠：9.70円 10%1g散：47.20円
後発品(*)	<ul style="list-style-type: none"> ● コンスーン錠5 — (5mg1錠：9.70円) — ● コンスーン錠10 — (10mg1錠：9.70円) — ● コンスーン散1% — (1%1g：8.40円) — ● リサーチーフ散10% — (10%1g：47.20円) — 		
本薬の特徴	長時間作用型（半減期：6.6～28時間）。活性代謝物あり。ジアゼパム等価換算値：10* ● 国内で初めて発売されたベンゾジアゼピン系抗不安薬。低力価で効果はマイルド。代謝経路が複雑で、いくつもの活性代謝物を持つ。		

抗不安薬

※ 稲垣中、稲田俊也：2006年版向精神薬等価換算、臨床精神薬理9：1443-1447, 2006

ベンゾジアゼピン系

セルシン（ジアゼパム）		武田薬品工業	
効能・効果	<ul style="list-style-type: none"> ●神経症における不安・緊張・抑うつ ●うつ病における不安・緊張 ●心身症(消化器疾患、循環器疾患、自律神経失調症、更年期障害、腰痛症、頸肩腕症候群)における身体症候並びに不安・緊張・抑うつ ●次の疾患における筋緊張の軽減：脳脊髄疾患に伴う筋痙攣・疼痛 ●麻酔前投薬 		
用法・用量	<p>通常、成人には1回ジアゼパムとして2～5mgを1日2～4回経口投与する。ただし、外来患者は原則として1日量ジアゼパムとして15mg以内とする。</p> <p>また、小児に用いる場合には、3歳以下は1日量ジアゼパムとして1～5mgを、4～12歳は1日量ジアゼパムとして2～10mgを、それぞれ1～3回に分割経口投与する。</p> <p>筋痙攣患者に用いる場合は、通常成人には1回ジアゼパムとして2～10mgを1日3～4回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p> <p>麻酔前投薬の場合は、通常成人には1回ジアゼパムとして5～10mgを就寝前または手術前に経口投与する。なお、年齢、症状、疾患により適宜増減する。</p> <p style="text-align: right;">投薬期間制限90日</p>		
禁忌	<ol style="list-style-type: none"> 1. 急性狭隅角緑内障のある患者 2. 重症筋無力症のある患者 3. リトナビル（HIVプロテアーゼ阻害剤）を投与中の患者 		
剤形	錠：2mg・5mg・10mg 散：1% シロップ：0.1%	薬価	2mg1錠：6.20円 5mg1錠：9.60円 10mg1錠：20.20円 1%1g散：19.50円 0.1%1mLシロップ：17.50円
後発品	<ul style="list-style-type: none"> ●ジアゼパム錠2mg「アメル」 ●ジアゼパム錠2「サワイ」 ●ジアゼパム錠2「トーフ」 ●ジアボックス錠2mg ●セエルカム錠2 ●セレナミン錠2mg ●パールキット錠2mg ●リリーゼン錠2mg — (2mg1錠：6.10円) — ●ジアゼパム錠5mg「アメル」 ●ジアゼパム錠5「トーフ」 ●ジアボックス錠5mg ●セエルカム錠5 ●セレナミン錠5mg — (5mg1錠：6.10円) — ●パールキット錠5mg — (5mg1錠：6.20円) — ●セエルカム錠10 — (10mg1錠:6.10円) — ●ジアゼパム散1%「アメル」 ●パールキット散1% ●リリーゼン散1% ●リリバー散1% — (1%1g:6.30円) — 		
本薬の特徴	<p>長時間作用型（半減期：27～28時間）。薬物代謝酵素はCYP2C19、CYP3A4が関与。活性代謝物あり。ジアゼパム等価換算値：5*</p> <p>●ベンゾジアゼピン系抗不安薬の標準薬で、効果判定の基準となる。活性代謝物デスメチルジアゼパムの半減期は50～100時間と言われ、抗不安効果は長く続く。</p>		

ベンゾジアゼピン系

ホリゾン（ジアゼパム）		アステラス製薬
効能・効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 神経症における不安・緊張・抑うつ ● うつ病における不安・緊張 ● 心身症（消化器疾患、循環器疾患、自律神経失調症、更年期障害、腰痛症、頸肩腕症候群）における身体症候並びに不安・緊張・抑うつ ● 次の疾患における筋緊張の軽減：脳脊髄疾患に伴う筋痙攣・疼痛 ● 麻酔前投薬 	
用法・用量	<p>通常、成人には1回ジアゼパムとして2～5mgを1日2～4回経口投与する。ただし、外来患者は原則として1日量ジアゼパムとして15mg以内とする。</p> <p>また、小児に用いる場合には、3歳以下は1日量ジアゼパムとして1～5mgを、4～12歳は1日量ジアゼパムとして2～10mgを、それぞれ1～3回に分割経口投与する。</p> <p>筋痙攣患者に用いる場合は、通常成人には1回ジアゼパムとして2～10mgを1日3～4回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p> <p>麻酔前投薬の場合は、通常成人には1回ジアゼパムとして5～10mgを就寝前または手術前に経口投与する。なお、年齢、症状、疾患により適宜増減する。</p> <p style="text-align: right;">投薬期間制限90日</p>	
禁忌	<ol style="list-style-type: none"> 1. 急性狭隅角緑内障のある患者 2. 重症筋無力症のある患者 3. リトナビル（HIVプロテアーゼ阻害剤）を投与中の患者 	
剤形	錠：2mg・5mg 散：1%	薬価 2mg1錠：6.20円 5mg1錠：9.60円 1%1g散：17.80円
後発品	<ul style="list-style-type: none"> ● ジアゼパム錠2mg「アメル」 ● ジアゼパム錠2「サワイ」 ● ジアゼパム錠2「トーフ」 ● ジアボックス錠2mg ● セエルカム錠2 ● セレナミン錠2mg ● パールキット錠2mg ● リリーゼン錠2mg — (2mg1錠：6.10円) — ● ジアゼパム錠5mg「アメル」 ● ジアゼパム錠5「トーフ」 ● ジアボックス錠5mg ● セエルカム錠5 ● セレナミン錠5mg — (5mg1錠：6.10円) — ● パールキット錠5mg — (5mg1錠：6.20円) — ● セエルカム錠10 — (10mg1錠:6.10円) — ● ジアゼパム散1%「アメル」 ● パールキット散1% ● リリーゼン散1% ● リリバー散1% — (1%1g:6.30円) — 	
本薬の特徴	<p>長時間作用型（半減期：27～28時間）。薬物代謝酵素はCYP2C19、CYP3A4が関与。活性代謝物あり。ジアゼパム等価換算値：5※</p> <p>● ベンゾジアゼピン系抗不安薬の標準薬で、効果判定の基準となる。活性代謝物デスメチルジアゼパムの半減期は50～100時間と言われ、抗不安効果は長く続く。</p>	

抗不安薬

※ 稲垣中、稲田俊也：2006年版向精神薬等価換算、臨床精神薬理9：1443-1447, 2006

ベンゾジアゼピン系

セレナール（オキサゾラム）		第一三共
効能・効果	<ul style="list-style-type: none"> ●神経症における不安・緊張・抑うつ・睡眠障害 ●心身症（消化器疾患、循環器疾患、内分泌系疾患、自律神経失調症）における身体症候並びに不安・緊張・抑うつ ●麻酔前投薬 	
用法・用量	1. 通常成人オキサゾラムとして1回10～20mg、1日3回経口投与する。なお年齢・症状に応じ適宜増減する。 2. 麻酔前投薬の場合には、通常オキサゾラムとして1～2mg/kgを就寝前または手術前に経口投与する。なお年齢・症状・疾患に応じ適宜増減する。 <div style="text-align: right;">投薬期間制限30日</div>	
禁忌	1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 2. 急性狭隅角緑内障の患者 3. 重症筋無力症の患者	
剤形	錠：5mg・10mg 散：10%	薬価 5mg1錠：6.10円 10mg1錠：6.20円 10%1g散：46.90円
後発品	<ul style="list-style-type: none"> ●トッカータ錠10mg ●ネブスン錠10mg ●ペルサル錠10mg — (10mg1錠：5.90円) — ●ペルサル錠20mg — (20mg1錠：6.10円) — ●ネブスン散10% — (10%1g：13.00円) — ●ペルサル細粒 — (10%1g：11.10円) — 	
本薬の特徴	長時間作用型（半減期：55～86時間）。活性代謝物あり。ジアゼパム等価換算値：20 ※ <ul style="list-style-type: none"> ●ジアゼパムより抗不安効果は弱い。また鎮静効果や筋弛緩効果も弱いため、ふらつきなどの副作用は出現しにくい。 	

ベンゾジアゼピン系

レスミット (メダゼパム)		塩野義製薬
効能・効果	<ul style="list-style-type: none"> ●神経症における不安・緊張・抑うつ ●心身症（消化器疾患、循環器疾患、内分泌系疾患、自律神経失調症）における身体症候並びに不安・緊張・抑うつ 	
用法・用量	通常、成人にはメダゼパムとして1日10～30mgを経口投与する。 ただし、年齢、症状により適宜増減する。 投薬期間制限30日	
禁忌	1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 2. 急性狭隅角緑内障の患者 3. 重症筋無力症の患者	
剤形	錠：2mg・5mg	薬価 2mg1錠：6.10円 5mg1錠：6.10円
後発品	<ul style="list-style-type: none"> ●メダゼパム錠2(ツルハラ) ●パムネース錠2 —— (2mg1錠：6.10円) —— ●パムネース錠5 ●メダゼパム錠5(ツルハラ) —— (5mg1錠：6.10円) —— ●パムネース細粒 — (1%1g：7.30円) — 	
本薬の特徴	長時間作用型（未変化体半減期：2～5時間）。薬物代謝酵素はCYP2C19、CYP3A4が関与。活性代謝物はジアゼパム、デスメチルジアゼパム。ジアゼパム等価換算値：10※ ●活性代謝物デスメチルジアゼパムの半減期は50～100時間であることから、抗不安効果は長く続くが、ジアゼパムよりも弱い。	

抗不安薬

※ 稲垣中、稲田俊也：2006年版向精神薬等価換算、臨床精神薬理9：1443-1447, 2006

ベンゾジアゼピン系

セパゾン（クロキサゾラム）		第一三共
効能・効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 神経症における不安・緊張・抑うつ・強迫・恐怖・睡眠障害 ● 心身症（消化器疾患、循環器疾患、更年期障害、自律神経失調症）における身体症候並びに不安・緊張・抑うつ ● 術前の不安除去 	
用法・用量	1. 通常成人クロキサゾラムとして1日3～12mgを3回に分けて経口投与する。 なお年齢・症状に応じ適宜増減する。 2. 術前の不安除去の場合は、通常クロキサゾラムとして0.1～0.2mg/kgを手術前に経口投与する。 なお年齢・症状に応じ適宜増減する。	
	投薬期間制限30日	
禁忌	1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 2. 急性狭隅角緑内障のある患者 3. 重症筋無力症の患者	
剤形	錠：1mg・2mg 散：1%	薬価 1mg1錠： 6.10円 2mg1錠： 6.20円 1%1g散：27.80円
後発品		
本薬の特徴	長時間作用型（半減期：11～21時間）。活性代謝物あり。ジアゼパム等価換算値：1.5* ● ジアゼパムより強力な抗不安作用、催眠作用や筋弛緩作用を持つ。 眠気、ふらつきなどの副作用に注意。	

ベンゾジアゼピン系

メンドン（クロラゼブ酸ナトリウム）		アボット ジャパン
効能・効果	神経症における不安・緊張・焦躁・抑うつ	
用法・用量	<p>通常、成人にはクロラゼブ酸ナトリウムとして、1日9～30mgを2～4回に分けて経口投与する。</p> <p>本剤の場合、1日2～4カプセル（クロラゼブ酸ナトリウムとして15～30mg）を2～4回に分けて経口投与する。</p> <p>なお、年齢、症状に応じ適宜増減する。</p> <p style="text-align: right;">投薬期間制限14日</p>	
禁忌	<ol style="list-style-type: none"> 急性狭隅角緑内障のある患者 重症筋無力症のある患者 リトナビルを投与中の患者 	
剤形	カプセル：7.5mg	薬価 7.5mg1カプセル：12.00円
後発品		
本薬の特徴	<p>長時間作用型（半減期：24時間以上）。活性代謝物あり。ジアゼパム等価換算値：7.5※</p> <p>●クロラゼブ酸自体は不活性、代謝を受けて抗不安効果を発現する。代謝物も含めた半減期は100時間との報告もあり、1日1回投与で十分な効果が得られる。</p>	

抗不安薬

※ 稲垣中、稲田俊也：2006年版向精神薬等価換算、臨床精神薬理9：1443-1447、2006

ベンゾジアゼピン系

セダبران (プラゼパム)		興和 興和創薬	
効能・効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 神経症における不安・緊張・抑うつ及び睡眠障害 ● うつ病における不安・緊張及び睡眠障害 ● 心身症（消化器疾患、高血圧症、自律神経失調症）における身体症候並びに不安・緊張・抑うつ及び睡眠障害 ● 麻酔前投薬 		
用法・用量	<p>1. 通常成人には、プラゼパムとして10～15mgを1日1回、または10～20mgを1日2～3回に分割して経口投与する。 ただし年齢、症状に応じ適宜増減する。</p> <p>2. 麻酔前投薬の場合は、通常成人にプラゼパムとして1回15mgを就寝前または手術前に経口投与する。 ただし年齢、症状、疾患に応じ適宜増減する。</p> <p style="text-align: right;">投薬期間制限30日</p>		
禁忌	<p>1. 急性狭隅角緑内障の患者</p> <p>2. 重症筋無力症の患者</p> <p>3. 本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者</p>		
剤形	錠：5mg・10mg 細粒：1%	薬価	5mg1錠：9.70円 10mg1錠：16.70円 1%1g細粒：15.60円
後発品			
本薬の特徴	<p>長時間作用型（半減期：約94時間）。活性代謝物はデスアルキルプラゼパムを経て、デスメチルジアゼパム（半減期は50～100時間）。ジアゼパム等価換算値：12.5※</p> <p>● 抗不安作用はジアゼパムよりやや弱い、筋弛緩作用も弱い。</p>		

ベンゾジアゼピン系

エリスパン（フルジアゼパム）		大日本住友製薬	
効能・効果	心身症（消化器疾患、高血圧症、心臓神経症、自律神経失調症）における身体症候並びに不安・緊張・抑うつ及び焦躁、易疲労性、睡眠障害		
用法・用量	通常、成人にはフルジアゼパムとして1日0.75mgを3回に分け経口投与する。 なお、年齢・症状により適宜増減する。 投薬期間制限30日		
禁忌	1. 急性狭隅角緑内障の患者 2. 重症筋無力症の患者		
剤形	錠：0.25mg 細粒：0.1%	薬価	0.25mg1錠：9.40円 0.1%1g細粒：29.00円
後発品			
本薬の特徴	長時間作用型（半減期：約23時間）。活性代謝物あり。ジアゼパム等価換算値：0.5* ●動物実験レベルでは抗不安作用は強力であるが、催眠鎮静効果は弱いため、眠気などは現れにくい。		

抗不安薬

* 稲垣中、稲田俊也：2006年版向精神薬等価換算、臨床精神薬理9:1443-1447, 2006

ベンゾジアゼピン系

メレックス (メキサゾラム)		第一三共
効能・効果	<ul style="list-style-type: none"> ●神経症における不安・緊張・抑うつ、易疲労性、強迫・恐怖・睡眠障害 ●心身症（胃・十二指腸潰瘍、慢性胃炎、過敏性腸症候群、高血圧症、心臓神経症、自律神経失調症）における身体症候並びに不安・緊張・抑うつ・易疲労性・睡眠障害 	
用法・用量	<p>通常、成人にはメキサゾラムとして1日1.5～3mgを3回に分けて経口投与する。</p> <p>なお、年齢・症状に応じ適宜増減するが、高齢者には1日1.5mgまでとする。</p> <p style="text-align: right;">投薬期間制限なし</p>	
禁忌	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 2. 急性狭隅角緑内障のある患者 3. 重症筋無力症の患者 	
剤形	錠：0.5mg・1mg 細粒：0.1%	薬価 0.5mg1錠：7.80円 1mg1錠：14.40円 0.1%1g細粒：14.40円
後発品		
本薬の特徴	<p>長時間作用型（半減期：60～150時間）。薬物代謝酵素CYP3A4が関与。活性代謝物あり。ジアゼパム等価換算値：1.67*</p> <p>●ジアゼパムより強力な抗不安作用を持ちながら、筋弛緩作用は弱い。そのため、ふらつきなどの副作用は出現しにくい。</p>	

ベンゾジアゼピン系

レキソタン (プロマゼパム)		中外製薬 エーザイ	
効能・効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 神経症における不安・緊張・抑うつ及び強迫・恐怖 ● うつ病における不安・緊張 ● 心身症（高血圧症、消化器疾患、自律神経失調症）における身体症候並びに不安・緊張・抑うつ及び睡眠障害 ● 麻酔前投薬 		
用法・用量	<ul style="list-style-type: none"> ● 神経症・うつ病の場合 通常、成人にはプロマゼパムとして1日量6～15mgを1日2～3回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。 ● 心身症の場合 通常、成人にはプロマゼパムとして1日量3～6mgを1日2～3回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。 ● 麻酔前投薬の場合 通常、成人にはプロマゼパムとして5mgを就寝前または手術前に経口投与する。なお、年齢、症状、疾患により適宜増減する。 <p style="text-align: right;">投薬期間制限30日</p>		
禁忌	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 2. 急性狭隅角緑内障の患者 3. 重症筋無力症の患者 		
剤形	錠：1mg・2mg・5mg 細粒：1%	薬価	1mg1錠：5.90円 2mg1錠：7.00円 5mg1錠：16.60円 1%1g細粒：33.30円
後発品	<ul style="list-style-type: none"> ● セニラン錠2 — (2mg1錠：5.90円) — ● セニラン錠3 — (3mg1錠：6.80円) — ● セニラン錠5 — (5mg1錠：9.60円) — ● セニラン細粒1% — (1%1g：28.60円) — 		
本薬の特徴	中時間作用型（半減期：8～19時間）。活性代謝物あり。ジアゼパム等価換算値：2.5* ● 強力な抗不安効果を持つ。眠気、ふらつきなどの副作用は出現しやすい。		

抗不安薬

* 稲垣中、稲田俊也：2006年版向精神薬等価換算、臨床精神薬理9:1443-1447, 2006

ベンゾジアゼピン系

ワイパックス (ロラゼパム)		ワイス 武田薬品工業
効能・効果	<ul style="list-style-type: none"> ●神経症における不安・緊張・抑うつ ●心身症（自律神経失調症、心臓神経症）における身体症候並びに不安・緊張・抑うつ 	
用法・用量	<p>通常、成人1日ロラゼパムとして1～3mgを2～3回に分けて経口投与する。なお、年齢・症状により適宜増減する。</p> <p style="text-align: right;">投薬期間制限30日</p>	
禁忌	<ol style="list-style-type: none"> 1. 急性狭隅角緑内障のある患者 2. 重症筋無力症のある患者 	
剤形	錠：0.5mg・1mg	薬価 0.5mg1錠： 7.10円 1mg1錠： 13.00円
後発品	<ul style="list-style-type: none"> ●アズロゲン錠0.5 ●ユーパン錠0.5mg — (0.5mg1錠：5.50円) — ●アズロゲン錠1.0 ●ユーパン錠1.0mg — (1mg1錠：6.10円) — 	
本薬の特徴	<p>中時間作用型（半減期：約12時間）。活性代謝物なし。ジアゼパム等価換算値：1.2※</p> <ul style="list-style-type: none"> ●直接グルクロン酸抱合され排泄されるため、CYP系の代謝は関与しておらず、高齢者や肝機能低下時にも使用しやすい。抗不安作用は強力、筋弛緩作用も強いので、ふらつきに注意が必要。 	

ベンゾジアゼピン系

コンスタン (アルプラゾラム)		武田薬品工業	
効能・効果	心身症（胃・十二指腸潰瘍、過敏性腸症候群、自律神経失調症）における身体症候並びに不安・緊張・抑うつ・睡眠障害		
用法・用量	<p>通常、成人にはアルプラゾラムとして1日1.2mgを3回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。増量する場合には、最高用量を1日2.4mgとして漸次増量し、3～4回に分けて経口投与する。</p> <p>高齢者では、1回0.4mgの1日1～2回投与から開始し、増量する場合でも1日1.2mgを超えないものとする。</p> <p style="text-align: right;">投薬期間制限30日</p>		
禁忌	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 2. 急性狭隅角緑内障のある患者 3. 重症筋無力症の患者 4. HIVプロテアーゼ阻害剤（インジナビル等）を投与中の患者 		
剤形	錠：0.4mg・0.8mg	薬価	0.4mg1錠：11.10円 0.8mg1錠：18.40円
後発品	<ul style="list-style-type: none"> ●アゾリタン錠0.4 ●カームダン錠0.4mg ●メデポリン錠0.4 ●アルプラゾラム錠0.4mg「トーフ」 <p style="text-align: center;">— (0.4mg1錠：6.10円) —</p>		
本薬の特徴	<p>中時間作用型（半減期：約14時間）。薬物代謝酵素はCYP3A4が関与。活性代謝物あり。ジアゼパム等価換算値：0.8*</p> <p>●強力な抗不安作用を持つが、高力価のため常用量での筋弛緩作用は弱い。抗うつ効果があるとの報告がある。</p>		

抗不安薬

※ 稲垣中、稲田俊也：2006年版向精神薬等価換算、臨床精神薬理9：1443-1447, 2006

ベンゾジアゼピン系

ソラナックス（アルプラゾラム）		ファイザー
効能・効果	心身症（胃・十二指腸潰瘍、過敏性腸症候群、自律神経失調症）における身体症候並びに不安・緊張・抑うつ・睡眠障害	
用法・用量	<p>通常、成人にはアルプラゾラムとして1日1.2mgを3回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。増量する場合には最高用量を1日2.4mgとして漸次増量し、3～4回に分けて経口投与する。</p> <p>高齢者では、1回0.4mgの1日1～2回投与から開始し、増量する場合でも1日1.2mgを超えないものとする。</p> <p style="text-align: right;">投薬期間制限30日</p>	
禁忌	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本剤に対し過敏症の既往歴のある患者 2. 急性狭隅角緑内障のある患者 3. 重症筋無力症の患者 4. 次の薬剤を投与中の患者： <ul style="list-style-type: none"> HIVプロテアーゼ阻害剤（インジナビル等） 	
剤形	錠：0.4mg・0.8mg	薬価 0.4mg1錠：10.70円 0.8mg1錠：18.40円
後発品	<ul style="list-style-type: none"> ●アゾリタン錠0.4 ●カームダン錠0.4mg ●メデポリン錠0.4 ●アルプラゾラム錠0.4mg「トーワ」 <p style="text-align: center;">— (0.4mg1錠：6.10円) —</p>	
本薬の特徴	<p>中時間作用型（半減期：約14時間）。薬物代謝酵素はCYP3A4が関与。活性代謝物あり。ジアゼパム等価換算値：0.8*</p> <p>●強力な抗不安作用を持つが、高力価のため常用量での筋弛緩作用は弱い。抗うつ効果があるとの報告がある。</p>	

ベンゾジアゼピン系

コレミナール（フルタゾラム）		沢井製薬 田辺三菱製薬
効能・効果	心身症（過敏性腸症候群、慢性胃炎、胃・十二指腸潰瘍）における身体症候並びに不安・緊張・抑うつ	
用法・用量	通常、成人にはフルタゾラムとして1日12mgを3回に分割経口投与する。なお、年齢・症状により適宜増減する。 投薬期間制限なし	
禁忌	1. 急性狭隅角緑内障のある患者 2. 重症筋無力症のある患者	
剤形	錠：4mg 細粒：1%	薬価 4mg1錠：10.10円 1%1g細粒：20.10円
後発品		
本薬の特徴	短時間作用型（半減期：約3.5時間）。活性代謝物あり。ジアゼパム等価換算値：15* ●ジアゼパムよりやや弱い抗不安作用、筋弛緩作用、抗痙攣作用を持つ。全般的に効果がマイルドなため、効能効果は心身症における身体症候や不安・緊張・抑うつ。	

抗不安薬

* 稲垣中、稲田俊也：2006年版向精神薬等価換算、臨床精神薬理9:1443-1447, 2006

チエノジアゼピン系

リーゼ（クロチアゼパム）		田辺三菱製薬
効能・効果	<ul style="list-style-type: none"> ●心身症（消化器疾患、循環器疾患）における身体症候並びに不安・緊張・心気・抑うつ・睡眠障害 ●下記疾患におけるめまい・肩こり・食欲不振 自律神経失調症 ●麻酔前投薬 	
用法・用量	<p>用量は患者の年齢、症状により決定するが、通常成人にはクロチアゼパムとして1日15～30mgを1日3回に分けて経口投与する。麻酔前投薬の場合は、就寝前または手術前にクロチアゼパムとして10～15mgを経口投与する。</p> <p style="text-align: right;">投薬期間制限30日</p>	
禁忌	<ol style="list-style-type: none"> 1. 急性狭隅角緑内障の患者 2. 重症筋無力症の患者 	
剤形	錠：5mg・10mg 顆粒：10%	薬価 5mg1錠：7.80円 10mg1錠：14.10円 10%1g顆粒：127.60円
後発品	<ul style="list-style-type: none"> ●ナオリーゼ錠5mg ●リリフター錠5 ●リルミン錠5 ●イソクリン糖衣錠5 ●ニラタック錠5mg ●クロチアゼパム錠5mg「トーフ」 — (5mg1錠：6.10円) — 	
本薬の特徴	<p>短時間作用型（半減期：約6.3時間）。活性代謝物あり。ジアゼパム等価換算値：10*</p> <ul style="list-style-type: none"> ●チエノジアゼピン系抗不安薬。抗不安効果は弱いだが、眠気やふらつきは少ない。自律神経失調症の効能効果を持つことから、身体症候に投与されることが多い。 	

チエノジアゼピン系

デパス（エチゾラム）		田辺三菱製薬	
効能・効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 神経症における不安・緊張・抑うつ・神経衰弱症状・睡眠障害 ● うつ病における不安・緊張・睡眠障害 ● 心身症（高血圧症、胃・十二指腸潰瘍）における身体症候並びに不安・緊張・抑うつ・睡眠障害 ● 統合失調症における睡眠障害 ● 下記疾患における不安・緊張・抑うつ及び筋緊張 頸椎症、腰痛症、筋収縮性頭痛 		
用法・用量	<ul style="list-style-type: none"> ● 神経症、うつ病の場合：通常、成人にはエチゾラムとして1日3mgを3回に分けて経口投与する。 ● 心身症、頸椎症、腰痛症、筋収縮性頭痛の場合：通常、成人にはエチゾラムとして1日1.5mgを3回に分けて経口投与する。 ● 睡眠障害に用いる場合：通常、成人にはエチゾラムとして1日1～3mgを就寝前に1回経口投与する。 <p>なお、いずれの場合も年齢、症状により適宜増減するが、高齢者には、エチゾラムとして1日1.5mgまでとする。</p> <p style="text-align: right;">投与期間制限なし</p>		
禁忌	<ol style="list-style-type: none"> 1. 急性狭隅角緑内障の患者 2. 重症筋無力症の患者 		
剤形	錠：0.5mg・1mg 細粒：1%	薬価	0.5mg1錠：9.00円 1mg1錠：15.10円 1%1g細粒：137.80円
後発品	<ul style="list-style-type: none"> ● アロファルム錠0.5 ● エチカーム錠0.5mg ● エチゾラム錠0.5mg〔EMEC〕 ● カプセーフ錠0.5mg ● セデコパン錠0.5mg — (0.5mg1錠：5.90円) — ● エチセダン錠0.5mg ● エチゾラン錠0.5mg ● グベリース錠0.5mg ● サイラゼパム錠0.5 ● デムナット錠0.5mg ● ノンネルブ錠0.5 ● モーズン錠0.5mg — (0.5mg1錠：6.10円) — ● デゾラム錠0.5mg ● パルギン錠0.5mg ● メディピース錠0.5 — (0.5mg1錠：6.40円) — ● アロファルム錠1.0 ● エチカーム錠1mg ● カプセーフ錠1mg ● セデコパン錠1mg — (1mg1錠：6.10円) — ● エチセダン錠1mg ● デゾラム錠1mg ● サイラゼパム錠1 ● メディピース錠1 — (1mg1錠：6.40円) — ● パルギン錠1mg — (1mg1錠：10.80円) — ● セデコパン細粒1% — (1%1g：31.10円) — 		
本薬の特徴	<p>短時間作用型（半減期：約6時間）。薬物代謝酵素はCYP2C9、CYP3A4が関与。活性代謝物あり。ジアゼパム等価換算値：1.5*</p> <p>● チエノジアゼピン系抗不安薬。強力な抗不安効果を持つ。作用持続時間が短いので睡眠導入にも用いられる。また筋弛緩作用も強く、肩こりなどにもしばしば処方されるが、ふらつきに対する注意は必要。</p>		

抗不安薬

※ 稲垣中、稲田俊也：2006年版向精神薬等価換算、臨床精神薬理9：1443-1447, 2006

そ の 他

セディール (タンドスピロンクエン酸塩)		大日本住友製薬						
効能・効果	<ul style="list-style-type: none"> ●心身症（自律神経失調症、本態性高血圧症、消化性潰瘍）における身体症候並びに抑うつ、不安、焦躁、睡眠障害 ●神経症における抑うつ、恐怖 							
用法・用量	<p>通常、成人にはタンドスピロンクエン酸塩として1日30mgを3回に分け経口投与する。</p> <p>なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日60mgまでとする。</p> <p style="text-align: right;">投薬期間制限なし</p>							
剤形	錠：5mg・10mg・20mg	<table border="1"> <tr> <td>薬価</td> <td>5mg1錠：21.50円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10mg1錠：37.40円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>20mg1錠：65.30円</td> </tr> </table>	薬価	5mg1錠：21.50円		10mg1錠：37.40円		20mg1錠：65.30円
薬価	5mg1錠：21.50円							
	10mg1錠：37.40円							
	20mg1錠：65.30円							
後発品	<ul style="list-style-type: none"> ●タンドスピロンクエン酸塩錠5mg「アメル」 ●タンドスピロンクエン酸塩錠5mg「サワイ」 ●タンドスピロンクエン酸塩錠5mg「トーワ」 ●タンドスピロンクエン酸塩錠5mg「日医工」 <p style="text-align: right;">— (5mg1錠：15.00円) —</p> <ul style="list-style-type: none"> ●タンドスピロンクエン酸塩錠10mg「アメル」 ●タンドスピロンクエン酸塩錠10mg「サワイ」 ●タンドスピロンクエン酸塩錠10mg「トーワ」 ●タンドスピロンクエン酸塩錠10mg「日医工」 <p style="text-align: right;">— (10mg1錠：26.10円) —</p> <ul style="list-style-type: none"> ●タンドスピロンクエン酸塩錠20mg「トーワ」 <p style="text-align: right;">— (10mg1錠：45.40円) —</p>							
本薬の特徴	<p>アザピロン系抗不安薬。短時間作用型（半減期：約1.2時間）。薬物代謝酵素はCYP2D6、CYP3A4が関与。活性代謝物なし。ジアゼパム等価換算値：25※</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本で唯一のセロトニン5HT_{1A}受容体作動作用を持った抗不安薬。抗不安作用は強くはないため、ベンゾジアゼピン系抗不安薬の服用経験のある患者では切り替え時に注意が必要である。ただし依存性や眠気が殆どないため、投与しやすい。 							

そ の 他

アタラックス(ヒドロキシジン塩酸塩)		ファイザー				
効能・効果	●神経症における不安・緊張・抑うつ					
用法・用量	●神経症における不安・緊張・抑うつには、ヒドロキシジン塩酸塩として、通常成人1日75～150mgを3～4回に分割経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。 投薬期間制限なし					
禁忌	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本剤の成分、セチリジン、ピペラジン誘導体、アミノフィリン、エチレンジアミンに対し過敏症の既往歴のある患者 2. ポルフィリン症の患者 3. 妊婦または妊娠している可能性のある婦人 					
剤形	錠：10mg・25mg	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">薬価</td> <td>10mg1錠： 6.20円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>25mg1錠： 9.90円</td> </tr> </table>	薬価	10mg1錠： 6.20円		25mg1錠： 9.90円
薬価	10mg1錠： 6.20円					
	25mg1錠： 9.90円					
後発品	●ジスロン錠 — (10mg1錠：5.90円) —					
本薬の特徴	<p>抗ヒスタミン作用を持つ抗不安薬。抗不安作用は穏やか。</p> <p>●ベンゾジアゼピン系抗不安薬では過度の鎮静、呼吸抑制を起こしやすい患者や高齢者に使用される。また、ベンゾジアゼピン系抗不安薬で禁忌とされる重症筋無力症にも投与可能である。</p>					

抗不安薬

そ の 他

アタラックス-P(ヒドロキシジンパモ酸塩)		ファイザー	
効能・効果	●神経症における不安・緊張・抑うつ		
用法・用量	●神経症における不安・緊張・抑うつには、ヒドロキシジンパモ酸塩として、通常成人1日128～255mg(ヒドロキシジン塩酸塩として75～150mg)を3～4回に分割経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。 投薬期間制限なし		
禁忌	1. 本剤の成分、セチリジン、ピペラジン誘導体、アミノフィリン、エチレンジアミンに対し過敏症の既往歴のある患者 2. ポルフィリン症の患者 3. 妊婦または妊娠している可能性のある婦人		
剤形	カプセル：25mg・50mg 散：10% ドライシロップ：2.5% シロップ：0.5%	薬価	25mg1カプセル：7.30円 50mg1カプセル：13.50円 10%1g散：29.90円 2.5%1gドライシロップ：14.10円 0.5%1mLシロップ：3.10円
後発品	●ハタナジン錠 — (25mg1錠：6.10円) —		
本薬の特徴	抗ヒスタミン作用を持つ抗不安薬。抗不安作用は穏やか。 ●ベンゾジアゼピン系抗不安薬では過度の鎮静、呼吸抑制を起こしやすい患者や高齢者に使用される。また、ベンゾジアゼピン系抗不安薬で禁忌とされる重症筋無力症にも投与可能である。		